

令和7年度 都城市立吉之元小学校 学校評価

4段階評定（4：期待以上 3：ほぼ期待通り 2：やや期待を下回る 1：改善を要する）

項目	評価指標 ( )内数字は指標別評価	具体的な取組	学校の自己評価（結果の考察・分析及び改善策等）	自己評価	学校関係者評価	R6評価
1	<p>向基礎基本の定着と学力の</p> <p>少人数のよさを生かした学習指導がされていたか。</p> <p>○学校の楽しさ (3.3)</p> <p>○充実した教育活動 (3.7)</p> <p>○個に応じた指導 (3.9)</p> <p>○学力向上の工夫 (3.3)</p> <p>○基礎・基本の習得 (3.6)</p> <p>○活用力、応用力 (3.3)</p> <p>○家庭学習の習慣化 (3.4)</p> <p>○読書活動の推進 (3.2)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プロジェクト学習</li> <li>・自由進度学習</li> <li>・新カリキュラム</li> <li>・校内研修</li> <li>・ICTの効果的活用</li> <li>・NN学習</li> <li>(図書館サポーター、ALT、ICT支援員)</li> <li>・家庭学習推進</li> <li>・読書活動推進</li> </ul>	<p>○本年度は、総合的な学習の時間・生活科・図画工作科・国語科（思考・判断・表現）等を横断的に関連づけた「プロジェクト型の学習」を柱とし、児童が自ら課題を設定し、調べ、考え、表現する学びを充実させた。特に、地域を題材とした探究活動では、学習の成果を「こどもマルシェ」等で発信する場を設け、地域の方々と実際に交流しながら学びを深めることができた。活動を通して、表現力や対話力、他者と協働して成し遂げる力が育成されてきた。</p> <p>○小規模校の特性を生かし、日々の授業や活動の中で児童が意見を述べたり発表したりする機会を数多く設け、個に応じた指導や支援を行いながら学力向上を図ってきた。また、教師が授業を行う視点として「わ（わき役に徹する）・さ（先を読む）・び（微細な変化に気づく）」の理論を踏まえ、「教師が説明や助言を控え、児童にじっくり考える時間を保障する」授業改善に継続して取り組み、主体的な学習態度や思考力の向上につなげることができた。</p> <p>○家庭学習については、引き続き家庭学習の時間やルールを親子で確認させ、参観日や学級通信等を通して啓発や協力要請を行いながら、その習慣化を図ってきた。今後は、AIドリル等も活用しながら、基礎・基本の定着と個に応じた学びの充実をさらに進めていく必要がある。家庭・地域と連携した取組を継続し、児童一人一人が自信と意欲をもって学び続けられる学校づくりを推進していきたい。</p>	3.5	<b>3.5</b>	3.5
2	<p>り生命尊心の重育と成思いや</p> <p>生命尊重と思いやりの心を育む指導がされていたか。</p> <p>○整理整頓、後始末 (2.9)</p> <p>○あいさつの習慣化 (3.3)</p> <p>○コミュニケーション能力 (2.9)</p> <p>○人権意識、思いやりの心 (3.0)</p> <p>○生命尊重、社会のきまり (3.3)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身のまわりの生活習慣</li> <li>・あいさつの励行</li> <li>・誕生日会</li> <li>・高齢者への年賀状作成</li> <li>・高齢者宅訪問</li> <li>・環境美化活動</li> </ul>	<p>○全項目の中でも評価が低かったのが「整理整頓、後始末」であり、職員2.6、保護者2.6、平均2.9となった。身の回りの整理や後始末は、落ち着いた学習環境づくりだけでなく、忘れ物の防止にもつながる大切な生活習慣である。学校での指導を継続するとともに、家庭とも連携しながら、日常生活の中での声かけや習慣化を図っていききたい。</p> <p>○「あいさつの習慣化」については、児童3.5、職員3.0、保護者3.4、平均3.3であった。日頃から職員とあいさつを交わしたり、来客や地域の方々に対して礼儀正しくあいさつしたりする姿も見られ、一定の成果が表れている。あいさつは、互いを認め合う人間関係づくりの第一歩であるため、自ら進んで「気持ちの良いあいさつ」ができるよう、今後も指導を継続し、日常的に見守っていききたい。</p> <p>○道徳科や人権に関する授業を通して心の教育の充実を図るとともに、全職員が日頃から積極的に児童と関わり、些細な変化にも気付きながら教育相談を行ってきた。「人権意識、思いやりの心」に関する評価は、児童3.3、職員3.4、保護者3.2、平均3.3であった。今後は、友達への言葉遣いや行動の在り方について、SCとさらに連携を深めながら具体的な事例を基に考えさせる場面を意図的に設定し、相手の気持ちを想像して行動できる力の育成に努めていく必要がある。</p>	3.1	<b>3.5</b>	3.2
3	<p>充健康・安全教育の</p> <p>体力、安全、健康や食に関する指導がされているか。</p> <p>○体力づくり (3.2)</p> <p>○安全に気を付けた行動 (3.6)</p> <p>○健康や食に関する指導 (3.3)</p> <p>○マナーに気を付けた食事 (2.7)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水泳・なわとび</li> <li>・一輪車・持久走</li> <li>・ダンス</li> <li>・給食指導・歯磨き指導</li> <li>・健康生活チェック</li> <li>・避難訓練</li> </ul>	<p>○児童の実態に即した「体力向上プラン」の取組を設ける一方で、水泳やなわとび、一輪車、持久走などの体育学習にも組織的に取り組んできた。その結果、児童の運動意欲が高まり、昼休みに外遊びをする児童が増えるなど、体力づくりに前向きな姿が見られるようになった。体力テストにおいても、3名の児童が総合評価Aという優秀な成績となり、日頃の取組の成果が表れている。</p> <p>○毎月の安全点検を入念に行うとともに、気になる情報を全職員で共有しながら危機管理に努めてきた。また、各種避難訓練を年間5回実施し、状況に応じた行動の仕方や安全意識を高めることができた。今後も、地域や保護者との連携も図りながら、児童が安心して生活できる学校づくりを継続していく必要がある。</p> <p>○保健だよりや参観日等を通して望ましい健康生活に関する啓発を続け、家庭と連携しながら「早寝早起き、朝ご飯」の習慣化を図ったり、感染症予防対策を実行したりして、その流行を防ぐことができた。一方で、アンケート結果からも、基本的な生活習慣（食事のマナー、整理整頓や後始末等）の定着については課題が残っていることがうかがえる。今後は、学校全体での指導の統一と、家庭への働きかけをさらに工夫しながら、よりよい生活習慣の形成につなげていきたい。</p>	3.2	<b>3.2</b>	3.5
4	<p>の吉充実元ならではの教育</p> <p>地域の人材や環境を生かした吉之元ならではの教育活動がされているか。</p> <p>○地域の人材や環境を生かした活動 (3.5)</p> <p>○地域の行事参加 (3.6)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・トモダチふやそうプロジェクト</li> <li>・ホームページ、SNSの活用</li> <li>・稲作体験</li> <li>・さつまいもづくり</li> <li>・給食交流会</li> <li>・もちつき</li> <li>・アイススケート学習</li> <li>・高齢者宅訪問</li> </ul>	<p>○地域の人材や環境を生かした様々な活動を通して、児童は吉之元のよさを感じながら、主体的に楽しく学習することができた。本年度は、学校での学びを地域へ広げる取組として「こどもマルシェ」へ2回出店し、地域の方々との関わりを通して、相手意識をもった表現やコミュニケーションの力を育むことができた。また、地域の方々に自分たちの活動を知ってもらうことで、地域への愛着や誇りを高める機会となった。</p> <p>○「トモダチふやそうフェスティバル」を本年度は初開催し、500名以上の来場者があり大盛況となった。児童は来場者とのふれあいや交流を中心に、地域の温かさや吉之元の魅力を改めて実感することができた。また、学校存続に向けた取組がさらに発展し、学校を核とした地域創生の新しい形を提案する機会ともなった。学校と地域が一体となった取組として、吉之元ならではの特色ある教育活動の大きな成果であった。</p> <p>○本年度もアイススケート学習を実施することができ、保護者の協力を得ながら児童は楽しみながら技能を高めることができた。継続的に取り組むことで、挑戦する意欲や粘り強さ、仲間と励まし合う態度が育まれた。また、新聞等の取材もあり、この学習を通して吉之元小学校の魅力を県内外に伝えることができた。</p> <p>○ホームページやインスタグラム、YouTubeチャンネル等を活用した情報発信を継続し、学校と保護者・地域、卒業生や関係者をつなぐ役割を果たした。本年度は特に、マスコミとも連携しながら教育活動を積極的に発信することで、吉之元小の取組の価値や魅力をより広く伝えることができた。今後も、地域とともにある学校づくりを進め、吉之元ならではの教育の充実につなげていきたい。</p>	3.6	<b>4</b>	3.7